

科目名	身体障害治療学 I			授業の種類	講義	講師名		
授業回数	30	回	時間数	60	時間	4	単位	必修・選択
								必修
								配当学年 時期
								2年 前期
【授業の目的・ねらい】								
身体障害領域における作業療法を学ぶ								
【実務者経験】								
作業療法士として公立社総合病院、介護老人保健施設あさぎり むつみ荘にて身体障害領域の急性期から回復期までのリハビリテーションの従事経験。								
【授業全体の内容の概要】								
疾患ごとに作業療法の方法論を理解する								
前期に修得した身体障害治療学 I とともに国家試験に頻出される疾患への作業療法を学ぶ								
【授業終了時の達成課題（到達目標）】								
解剖学生理学運動学と病態とのつながりと病態に関する医師ほかの関わりや各種治療法と作業療法との関連がわかる								
回数	講義内容							準備物(教材)
1	身体障害治療学概論							教科書
2	中枢神経障害(脳血管障害)							教科書
3	中枢神経障害(脳血管障害)							教科書
4	中枢神経障害(脳血管障害)							教科書
5	中枢神経障害(脳血管障害)							教科書
6	中枢神経障害(脳血管障害)							教科書
7	中枢神経障害(脳血管障害)							教科書
8	中枢神経障害(脳血管障害)							教科書
9	中枢神経障害(脳血管障害)							教科書
10	中枢神経障害(頭部外傷)							教科書
11	中枢神経障害(頭部外傷)							教科書
12	中枢神経障害(脊髄損傷)							教科書
13	中枢神経障害(脊髄損傷)							教科書
14	中枢神経障害(脊髄損傷)							教科書
15	骨関節障害(骨折)							教科書
16	骨関節障害(骨折)							教科書
17	骨関節障害(手の骨折)							教科書
18	骨関節障害(手の骨折)							教科書
19	骨関節障害(手指屈筋腱損傷を中心に)							教科書
20	骨関節障害(手指屈筋腱損傷を中心に)							教科書
21	骨関節障害(切断)							教科書
22	骨関節障害(切断)							教科書
23	骨関節障害(腱板損傷)							教科書
24	骨関節障害(腱板損傷)							教科書
25	骨関節障害(RA)							教科書
26	骨関節障害(RA)							教科書
27	骨関節障害(RA)							教科書
28	骨関節障害(RA)							教科書
29	神経筋障害(末梢神経損傷)							教科書
30	神経筋障害(末梢神経損傷)							教科書
定期筆記試験								
【 使用教科書・教材・参考書 】								
ゴールドマスターシリーズ 身体障害作業療法学（メジカルビュー）								
【準備学習・時間外学習】								
各疾患に関しては内科学、整形外科、神経内科学、老年期学、リハビリテーション医学、一般臨床医学などで学修するが、前後することも多いのでしっかり予習復習に時間を取ること。また、評価学とも重複する部分はあるが前後することも多い。そのため、並行してしっかり学修しておくこと。								
【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】								
試験の結果を100点満点として成績を評価する。								
試験は定期筆記試験を100点とする。								
60点以上の場合に科目を認定する。								